

(1)国語科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定受験奨励を通じて、漢字力向上を図っている。また、小テストなどで定着を図った。 ・文法や語句の理解を深める学習を充実させるためにも、さらなる教材の工夫や補習態勢が必要である。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章の表現力向上を目指した課題作文や学習シート、論述問題に積極的に取り組んでいる。今後も継続したい。 ・語句・語彙などの知識・理解との関連を明らかにした上で、辞書や副教材の文章を活用した「読解」指導を行い、効果があった。 ・発表活動を通して「表現」の充実を目指したが、さらなる研究が必要である。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業をはじめとして日常生活の様々な場面（講話、話し合い、会話、作文など）において、自分自身の学習活動を振り返る姿勢や粘り強く課題に取り組もうとする意欲がうかがえる。

(2)国語科の学習効果測定等における分析(内容別・観点別)

内容項目	分析
聞くこと	聞き取りのテストでは目標値は上回っているものの、前年度よりも正解率が低かった。これは授業規律の徹底やメモを取りながら聞く力が定着するような取り組みを実施する必要があると考えられる。
読むこと	目標値は上回っているものの、2, 3年どちらも前年度よりも正解率が低かった。今後は文章の構成や展開を考えて読み取りを行うことが重要である。
書くこと	書くことに苦手意識を持っている生徒が多いためか、前年度よりも正解率が低い。ワークシートや定期テストの取り組みで書く力を向上させることが重要だろう。

観点	分析
知識・技能	漢字の読み書きや文法などの知識は目標値を達成しており、ある程度定着していると言える。しかし、達成できていない部分もあるため、知識の定着のためには反復学習など様々な手立てが考えられる。
思考・判断・表現	文章の読み取りや聞き取りは目標値を達成している。また、書く力も目標値を達成している。このため、学習したことを用いて思考・判断・表現する力がついていると考えられる。
主体的に学習に取り組む態度	授業に意欲的に取り組む生徒が多い。難しい問いに対しても粘り強く取り組んでいる様子が多く見られる。学習の積み重ねを通して徐々に力を付けようとしている生徒が多い。

(3)国語科の学習効果測定等における課題

<ul style="list-style-type: none"> ・全学年でどの観点でも目標値を上回る結果が多かった。この状態を維持していきたい。 ・「書く力」の弱さは、国語だけでなく、日常的に指導を続ける必要がある。 ・1年生は話の内容を正確に聞き取る、2年生は漢字の書き取りに関する知識に課題があるため、特に注意して指導する必要がある。 ・いろいろなジャンルの文章に取り組むことによって、どんなものにも対応できる『読む力』『書く力』を養わなければいけない。
--

(4)国語科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きや語彙を豊かにする学習を繰り返す。そのなかで文章を正確に読み取る力を伸ばしていく。 ・語句・語彙などについての知識・理解との関連を明らかにした上で、読みとりや書きとりの指導を充実させる。 ・古典の学習においては、内容理解の上になって、暗唱の指導を積極的に行う。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチや聞き取りテスト、話し合い活動の実施を通して表現力を伸ばす。 ・論理的な展開のある文章表現力の向上を目指す。そのため課題作文やテストなどの論述問題への取り組みの中で、文と文のつながりや段落の構成などについて意識しながら書く指導を行う。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・文学的表現・説明的文章ともに必要に応じて、生徒の関心をひくような教科書以外の文章を適宜用意し使用する。 ・日本漢字能力検定の受検奨励。 ・文字を正しく丁寧に整えて書こうとする態度とともに、日常的な生活言語を大切に作る姿勢がしっかりと身につくような授業を行う。

内容項目	具体的な授業改善策
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・メモを取りながら話を聞くことを意識づける授業をおこなう。 ・5W1Hを意識した聞き取りの指導を行う。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> ・文章になれるためにも読書の励行や本の紹介を積極的に行う。 ・文章の構成や展開に注意をはらって授業を行う。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に作文を書く実践を行う。 ・お互いに推敲し合うことで自分の文章を見直す習慣をつける。 ・苦手意識がなくなるように身近な題材から書く。

学年	具体的な授業改善策
1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・話の内容を正確に聞き取る力を養うため、普段の授業から耳で聞いてメモをする習慣をつける。また、聞き取りテストなども継続して行う。 ・書く力を身につけるため、自分の考えを言葉に書く練習や語彙力の向上、作文指導などを行う。
2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・文法や漢字などの基礎が定着するように振り返りテストや小テストを実施する。 ・文章の内容を正確にとらえ、伝えたい事柄を明確にして書くことに課題があるため、作文指導を計画的に行う。 ・「聞く」項目を意識した授業作りを行う。
3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや思いを相手に正確に伝えるための語彙力の向上を図る。 ・文章を書くという苦手意識が薄れてきている。文章の構成を意識した課題作文・小論文の指導を行い、更に書く力を向上させる。